

## 平成 30 年度桑名市地域包括支援センター事業評価について

### 1. 事業評価導入の目的とその効果

桑名市では、平成 27 年 3 月に策定した「桑名市地域包括ケア計画—第 6 期介護保険事業計画・第 7 期老人福祉計画—（平成 27 年度～29 年度）」に基づき、高齢になっても可能な限り、住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるよう地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいる。この取り組みの推進のため、地域包括ケアシステム構築の中核的な役割を担うことが期待される地域包括支援センター（以下、「センター」という。）のさらなる機能の向上や桑名市とセンターとの連携強化を図る必要がある。

また、平成 26 年の介護保険法の一部改正（平成 27 年 4 月 1 日施行）により、センターの設置者による自己評価と市町村によるセンターの事業実施状況の定期的な点検等の努力義務が規定されたところである。（※）

以上のことから、市内の委託しているセンターを対象として、桑名市が年度当初に策定する地域包括支援センター事業運営方針（以下、「運営方針」という。）に基づく評価指標により毎年度評価を実施し、センターの取り組みを改善・見直すこと等により PDCA サイクルを循環させ、センターの機能向上等を図っていくものである。

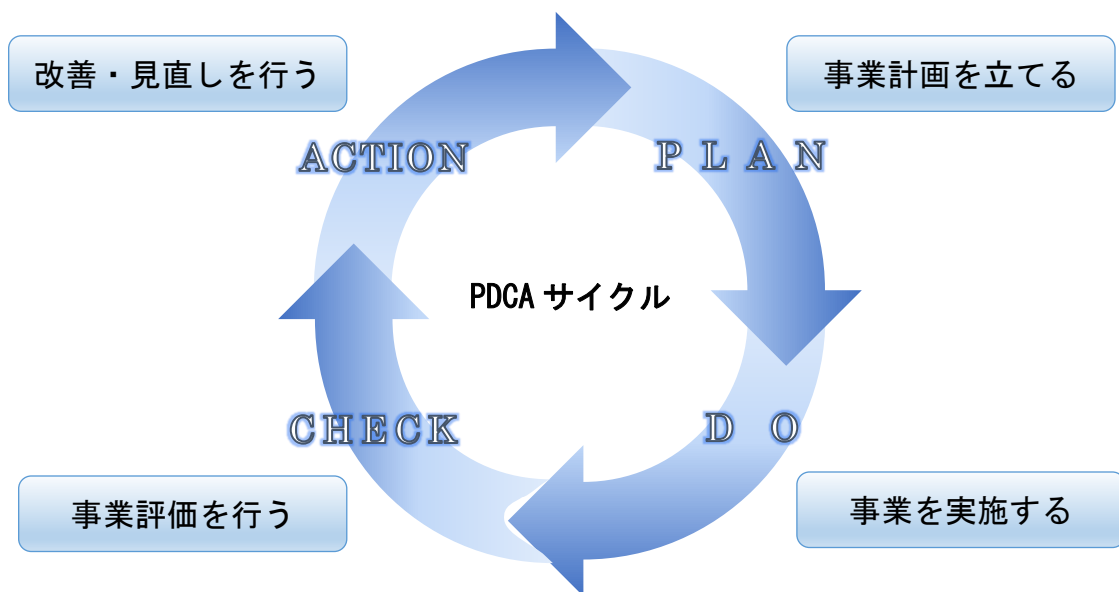
なお、評価の結果、成績上位のセンターには委託費に上乗せする加算を行い、センターのさらなる機能向上等に向けたインセンティブを付与する。

（※）介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）

（地域包括支援センター）

第 115 条の 46

- 4 地域包括支援センターの設置者は、自らその実施する事業の質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより、その実施する事業の質の向上に努めなければならない。
- 9 市町村は、定期的に、地域包括支援センターにおける事業の実施状況について、点検を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、次条第 1 項の方針の変更その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。



## 2. 事業評価の手法

センターが、桑名市が策定した運営方針の方針を十分に理解した上で、準公的機関としての位置づけを徹底して業務に取り組んでいることや「プレーヤー」から「マネージャー」への転換を実践していること等、桑名市の目指す方針の具現化に向けて積極的に取り組んでいることを評価する。

具体的には以下の手法により評価を行い、最終評価における評価点数の上位2ヶ所のセンターに対して平成31年度の委託費に上乗せする加算を行う。

### (1) プレゼンテーションによる一次評価

運営方針に基づき、桑名市があらかじめ設定したテーマに沿って、各センターが、桑名市地域包括ケアシステム推進協議会にてプレゼンテーションを実施し、同協議会の委員が評価指標に基づき採点する。各委員が採点した点数を集計したものが、各センターの一次評価点数となる。

#### ① 実施日時・場所

平成31年2月8日（金）に開催する第29回桑名市地域包括ケアシステム推進協議会 総会において実施。

#### ② 実施時間

1センターにつき、7分（プレゼンテーション7分、質疑応答3分）とする。

#### ③ その他

- ・プレゼンテーションはセンター職員が行い、出席者数は2名以内とする。
- ・プロジェクター及びスクリーン等は、本市が準備したものをを用いる。
- ・プレゼンテーション等は公開とする。

### (2) センターの体制及び実績に基づく全体評価による二次評価

平成30年度終了後に各センターから提出される実績報告及びあらかじめ各センターが評価指標に沿って行った自己評価をもとに各センター長（または管理者等）へのヒアリングを行い、桑名市職員が審査員となり、評価指標に基づき採点する。各委員が採点した点数を集計したものが、各センターの二次評価点数となる。

#### ① 実施時期

平成31年4月下旬～5月上旬ごろを予定。

#### ② 実施時間

1センターにつきヒアリングの時間を20分とする。

#### ③ その他

- ・質疑応答はセンター長（または管理者）を含む2名以内のセンター職員が出席。
- ・ヒアリング等は非公開とする。

(3) センターの最終評価

上記の一次評価点数及び二次評価点数を1：1の割合で合算して得た点数を最終評価点数とし、上位2ヶ所のセンターを決定する。

3. 評価の視点及び配点割合

(1) 一次評価の視点及び配点割合

(別紙1)を参照。

(2) 二次評価の視点及び配点割合

(別紙2)を参照。

※ 最終評価に当たっては、一次評価点数及び二次評価点数を1：1の割合で合算して得た点数を最終評価点数とする。

4. 成績上位者の発表

最終評価後、直近で開催される桑名市地域包括ケアシステム推進協議会にて成績上位2ヶ所のセンターを発表する。また、桑名市ホームページでもこれを公表する。

5. 全体のスケジュール

(別紙3)を参照。

## 一次評価の視点及び配点割合

### 【テーマ】

#### 『地域ケア会議について』～取組と実践の内容～

地域ケア会議は、「個別課題の解決」、「地域包括支援ネットワークの構築」など多くの機能を有することが求められているが、地域包括支援センターとして、介護予防に資するサービスの提供及び在宅生活の限界点を高めるサービスの提供など、自立支援及び多職種協働という視点をもって「地域ケア会議」の機能を発揮するための取組と実践した内容がどのようなものかを報告する。

【参考】桑名市地域包括ケア計画—第7期介護保険事業計画・第8期老人福祉計画— 抜粋

#### イ 地域支援調整会議

##### 3) 第7期における方針

困難事例解決のため、関係機関との連携を図りながら、引き続き地域支援調整会議を開催します。

また、会議開催にあたっては、高齢者施策に係る支援者以外にも、関係機関や関係者に出席を広く呼びかけ、より良い支援方針を協議する場としていきます。

#### ロ 地域生活応援会議

##### 3) 第7期における方針

地域生活応援会議を引き続き開催し、介護予防に資するサービスの提供及び在宅生活の限界点を高めるサービスの提供を実現するための多職種協働によるケアマネジメントを実践していきます。その中で、地域生活応援会議の意義や効果について「見える化」を行うことにより、さらなる高齢者の自立支援の推進に取り組めます。

これまでは会議の対象として、新規に要支援認定または事業対象者と判断されて在宅サービスを利用しようとする者を対象としてきましたが、これに加えて、要介護認定者や新規ではない要支援認定者にも対象を広げることを検討します。なお、この対象者の拡大にあたっては、これまでと同様に会議の趣旨である介護予防に資するケアマネジメントの推進に加え、会議を開催することにより、利用者の有益性及びサービスの利用が適正化される効果が期待できるように対象者を抽出することを検討します。

また、会議の対象としてきた事例のうち、がん末期等の治癒困難な状態の事例や短期入所のみでのサービス利用の事例は、原則、会議の対象から除外します。

なお、総合事業における「くらしいきいき教室」のサービス提供期間を原則3か月とすることや「いきいき訪問（仮称）」のサービスを開始することに伴って、地域生活応援会議の運用もこれに応じて変更します。このほか、会議の効率化も推進しながら、効果的に会議を開催していきます。

また、地域生活応援会議後に介護保険を「卒業」した高齢者のその後についても引き続き把握し、継続した支援に努めていきます。

さらに、地域生活応援会議において個別ケースの課題分析の積み重ねにより地域課題を抽出した上で、地域に必要な資源開発や地域づくりなどの政策形成につなげていく流れを明確にしていくような方策を

検討します。

## ハ ケアミーティング

### 3) 第7期における方針

引き続き暫定的なサービス利用についてケアミーティングで確認し、適切な制度運用につなげていきます。また、この場合においても、介護給付費適正化の視点から担当する介護支援専門員に対して適切なケアプラン作成を促していきます。

## 二 地域ケア会議における機能の推進

地域ケア会議は、「個別課題の解決」、「地域包括支援ネットワークの構築」、「地域課題の発見」、「地域づくり、資源開発」及び「政策の形成」の5つの機能を有することが求められています。

桑名市では、地域ケア会議における課題抽出から政策形成への流れを次のように整理し、こうした流れを参考として、地域の実情に即した政策の形成・実施を推進します。

1. 地域支援調整会議、地域生活応援会議及びケアミーティングにおいて、それぞれの対象者における個別事例の検討の積み重ねにより課題抽出の役割を担います。
2. 生活支援コーディネーターが主体となり、地域住民や関係者等が参画し、概ね地区を単位として開催する「協議体」（177頁参照）等の地区や圏域において開催する会議で、1.の課題をもとに地域に共通する課題や有効な支援策を検討し、必要な地域づくりや地域の資源開発等につなげていきます。
3. 2.の検討状況を踏まえて、桑名市としての政策形成の必要性等について、桑名市地域包括ケアシステム推進協議会において協議を行います。

なお、2.の概ね地区を単位とした「協議体」等における検討にあたっては、ワークショップ等の手法をもとに試行的な取組を実施する等、地域住民が参加しやすく、また地域の資源開発につながりやすい運用方法を

## 地域ケア会議における課題抽出から政策形成イメージ

桑名市地域包括ケアシステム推進協議会（政策形成の機能）

地域課題の抽出及び地域づくり・資源開発の機能

「協議体」などの地区や圏域レベルの会議

個別事例検討の積み重ねによる課題抽出の機能

地域支援調整会議

地域生活応援会議

ケアミーティング

【1】地域包括支援センターの立場で桑名市の位置付ける「地域ケア会議」※1から、  
どのようなエビデンス（根拠）をもとに課題を導き出したか。

・・・・・・・・・・（配点割合：30%）

※1「地域ケア会議」とは、「桑名市地域包括ケアシステム推進協議会」、「地域支援調整会議」、「地域生活応援会議」、「ケアミーティング」のことをいう。

・「地域ケア会議」における事例等に対してどのように分析しているか。

（どのようなデータなどを活用しているか）

・「地域ケア会議」に多職種で取り組むことに対して、課題をどのように共有し、合意形成しているか。

【2】【1】で導き出した課題に臨む上で、どのように地域包括支援センターとしてチームで取り組んだか。

・・・・・・・・・・（配点割合：30%）

・取り組みに当たっては、地域包括支援センター内等で「地域ケア会議」における事例等をどのように分析し、自立支援につなげていけるか等を多職種でしっかりと意見を出し合い検討を行っているか。

（一人で抱え込んでいないか。チームで取り組みができていないか。）

・取組に当たっては、生活支援コーディネーター、医療・介護関係者、地域住民等と連携は図れたか、ネットワーク構築に努めたか。（地域包括支援センター外の関係機関とも連携は取れているか）

【3】【2】で取り組んだことからどのような結果・効果が得られたか。

・・・・・・・・・・（配点割合：20%）

・地域包括支援センターの中で取り組んだ結果をどのように把握・分析しているか。

・地域・関係機関（地域包括支援センター外）に対して取り組んだ結果を共有しているか。

【4】今後、「地域ケア会議」の機能を発揮していくためにどのように取り組んでいく予定か。

・・・・・・・・・・（配点割合：10%）

・地域包括支援センターとして短期（31年度）・長期（第7期）に取り組む目標の検討がされているか。

【5】プレゼンテーションのスキル

・・・・・・・・・・（配点割合：10%）

・提出資料、プレゼンテーションを通じて、地域包括支援センターとしての役割・取り組みが分かりやすく伝えられているか。

(別紙2)

## 二次評価の視点及び配点割合（※審査項目は抜粋）

- ① 事業運営状況及び事業実績の報告書・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：6%）
- ・4半期に一度の提出が、遅延なく提出できているか。
  - ・事業実績報告書の各項目が適正に行われているか。
- ② 地域包括支援センターの職員体制・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護専門員等）を適正に配置しているか。
  - ・職員の入れ替わりが頻繁に行われておらず、職員が定着しているか。
  - ・職員間で情報が共有できるような体制（ミーティングの実施等）が構築されており、相談内容毎の対応状況が把握できているか。
- ③ 地域包括支援センター職員の資質向上・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：10%）
- ・研修の参加やそのフィードバックや共有等、職員の資質向上のための取組みを個人・組織共に積極的に行っているか。
  - ・センター及び保険者との協力体制を考慮した職務態度を職員全員がとれているか。
- ④ 介護予防ケアマネジメント・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・生活機能向上を実現するため、「短期集中予防サービス」を重点的に活用しているか。
  - ・地域生活応援会議に関係なく介護予防ケアマネジメントについて、居宅介護事業所に適切な支援・指導を行えているか。
  - ・利用者の自立支援、生活機能向上のための目標を利用者本人・家族・サービス提供事業者と共有し、丁寧に合意形成を行っているか。
- ⑤ 包括的継続的ケアマネジメント・施設機能の地域展開・・・・・・・・（配点割合：10%）
- ・介護支援専門員の資質の向上・後方支援が行えているか。
  - ・施設機能の地域展開に資するサービス（小規模多機能型居宅介護等）の利用を促進できているか。
- ⑥ 地域ケア会議の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・地域生活応援会議の場で、有意義な助言・アドバイス等の発言を行っているか。
  - ・地域課題について話し合う仕組みづくりに取り組んでいるか。



- ⑦ 介護予防把握事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・「桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」に基づくデータを活用し、リスクを抱える高齢者を把握しているか。
  - ・「通いの場」に関与する等の機会において「基本チェックリスト」を活用することにより、リスクを抱える高齢者を把握しているか。
- ⑧ 権利擁護事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：10%）
- ・困難事例・虐待事例等を把握した場合には、職員が相互に連携しセンター内の多職種にて対応を行っているか。
  - ・困難事例・虐待事例の支援方針をセンター内で十分に検討し会議を開催しているか。
- ⑨ 在宅医療・介護連携の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：10%）
- ・在宅医療・介護連携関係の会議等に、参加・協力しているか。
  - ・病院等で開催される退院調整会議へ出席し、在宅復帰を支援しているか。
  - ・退院調整に係るルール作りに協力しているか。
  - ・在宅医療・介護に関する住民への周知・啓発を行っているか。
- ⑩ 認知症施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・認知症初期集中支援について、適切かつ効果的な運営ができているか。
  - ・認知症サポーター養成講座の主体的な実施に取り組んでいるか。
  - ・認知症の方やその家族への支援、地域づくり、関係機関とのネットワークづくり等に努めているか。
- ⑪ 生活支援体制整備の推進・・・・・・・・・・・・・・・・（配点割合：8%）
- ・地域に働きかける「マネージャー」の役割ができているか。地域資源の活用が行えているか。
  - ・生活支援コーディネーター等と協力し、地域の課題について話し合う仕組みづくりに取り組んでいるか。
- ⑫ 地域包括ケア計画の理解及びセンターの自主性・・・・・・・・（配点割合：6%）
- ・センターに在籍する職員が準公的機関としての自覚を持ち、「桑名市地域包括ケア計画」及び「事業運営方針」を理解したうえで業務に臨んでいるか。
  - ・「桑名市地域包括ケア計画」及び「事業運営方針」に沿って、自身のセンターの方向性・計画を立て、自主性を持って運営に取り組んでいるか。
  - ・準公的機関としての自覚を持ち、公平性・中立性に配慮して、介護サービス事業所等の紹介や指定介護予防支援業務の委託先を選定しているか。

### 全体のスケジュール

